

早大生のための

「地方上級・国家一般職」 公務員オンラインセミナー

CONTENTS 1. 公務員の職種と仕事内容 2. 公務員の試験制度と攻略法 3. TACの合格カリキュラム

1 公務員の職種と仕事内容

□公務員の種類

	事務系	技術系	公安系	心理・福祉系
国家公務員	国家総合職、国家一般職、 国税専門官、財務専門官、 裁判所事務官 など	土木職、建築職、 機械職、化学職、 電気・電子・情報職、 農業・農学職 など	皇宮護衛官、 海上保安官 など	法務省専門職員、 家裁調査官補 など
地方公務員	都道府県庁、政令指定都市、 市町村、特別区（東京 23 区） など		警察官、消防官	心理職、福祉職、 社会福祉職、心理判定員 など

国家公務員

☺ スペシャリストとして活躍

1 府 12 省庁・税務署・ハローワーク・裁判所・国会などに勤務し、**各機関が管轄する分野のスペシャリスト**として活躍します。

☺ 仕事のスケールが大きい

日本全体を視野にとらえ、日本全体を動かす、日本全体に影響を与えるような**国家単位の仕事に携わることができる点**は、国家公務員ならではの魅力です。

地方公務員

☺ ゼネラリストとして活躍

県庁・市役所・区役所などに勤務し、2～3年の周期でさまざまな**部局を異動しながら、ゼネラリストとして幅広い分野の業務**に携わります。

☺ 地域密着型の仕事ができる

各自治体が抱える課題は、**自治体によりさまざま**です。地方公務員は、**地域に密着した存在**として、時には**住民と協働**しながらまちづくりや行政サービスを実現します。

公務員の職場は民間企業にはない魅力であふれています!

公務員として働くメリット

職業としての公務員には、たくさんの魅力があります。

人々の幸せのために働くやりがい、生涯にわたる安定、充実した休日・休暇制度、公平な試験・人事制度など、様々な充実した制度で、安定した環境で働くことができます。
ここでは、その一部をご紹介します。

POINT

01 充実した休日・休暇制度

仕事もプライベートも充実させるための制度があり、完全週休二日制はもちろん、育児休業・育児短時間勤務・介護休暇などの活用を職場全体がバックアップしてくれる環境があるのが公務員の職場です。仕事も家庭も大切にしたい、また趣味も大事にしたい、とお考えの女性はもちろん男性にとっても、公務員の職場は理想的な職場環境と言えますでしょう。



	妊娠	出産	1歳	3歳	小学校入学
産前休暇・産後休暇 出産の6週間前から8週間後までの休暇	妻				
配偶者出産休暇 妻の出産の付添いなどのための休暇	夫				
育児参加のための休暇 妻の産前・産後休暇中に就学前の子を養育するための休暇	夫				
育児休業 子を養育するための休業(子が3歳になるまで)	妻 夫				
育児短時間勤務 子を養育するための短時間での勤務(子が就学するまで)	妻 夫				
早出遅出勤務 放課後児童クラブへの送迎などのための勤務時間帯の変更	妻 夫				
子の看護休暇 子の急な発熱などの際の看護のための休暇(子が就学するまで)	妻 夫				

※このほかにも様々な支援制度があります。
出典：人事院 国家公務員一般職試験ガイド2019年度版

POINT

02 高水準で安定した収入

業績や経済動向に大きく左右されやすく、平均年収が400万円台前半で推移している民間企業に対し、公務員の平均年収は600万円台中盤で推移しており、年収は、民間企業に比べて高い水準となっています。各種手当が充実している公務員の生涯年収は、民間企業と比べて格段に安定しており、民間企業よりも魅力的なものであるといえます。

例えば・・・

特別区(I類)職員初任給

220,400円 + 扶養手当、住居手当など

※この初任給は平成31年4月1日の給料月額に地域手当を加えたものです。職務経験などがある人は、一定の基準により加算される場合があります。
※この初任給のほか、条例等の定めるところにより、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤続手当などが支給されます。

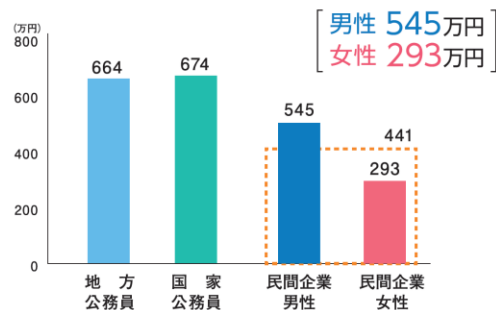
民間(大学卒)平均初任給

210,200円

※厚生労働省令和元年賃金構造基本統計調査結果(初任給)の概況より
※本調査の初任給は、通常の所定労働時間、日数を勤務した新規卒業者の6月分所定内給与額(所定内労働時間に対して支払われる賃金であって、基本給のほか諸手当が含まれているが、超過労働給与額は含まれていない。)から通勤手当を除いたものである。

平均年収比較(平成30年度)

地方公務員(※1) **664万円** 国家公務員(※2) **674万円** 民間企業(※3) **441万円**



※1 地方公務員の平均年収はTACが独自に算出した都道府県庁および政令指定都市の一般行政職の推定額です。

平均年収＝「月額支給される給料及び手当」×12＋「年額支給される手当(期末手当・勤続手当(ボーナス)等)」÷「月額支給される給与及び手当」＝給料＋各種手当(扶養手当、通勤手当等)
〔参考資料〕総務省 地方公務員の給与実態調査(平成30年度)

※2 国家公務員の平均年収はTACが独自に算出した一般行政職員の推定額です。

平均年収＝「平均給与月額」×12＋期末・勤務手当(ボーナス)÷「平均給与月額」＝俸給＋各種手当(扶養手当、調整手当、地域手当等)
〔参考資料〕人事院 国家公務員給与等実態調査(平成30年度)／人事院 国家公務員給与の概要／内閣人事局報道資料

※3 民間 平均年収〔参考資料〕国税庁民間給与実態統計調査(平成30年分)

POINT 03 安定した職場環境

重責を担う公務員は、国家公務員法や地方公務員法でその身分を強力に保障されていますので、短期的な業績や経済動向に左右されことなく、長期的な視点に立って、じっくりと職務にあたることができます。突然の失業のリスクや心配はなく、社会全体のために仕事ができるのは、公務員独自の魅力です。

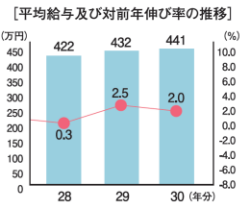
公務員

- ◎法律による身分保障
- ◎安定した収入
- ◎終身雇用



民間企業

- △景気による業績変動
- △上下動する収入
- △失業のリスク



[参考資料] 国税庁民間給与実態統計調査(平成28~30年分)

例えば・・・国家公務員

・給与変動が少ない!

民間企業全体の給与水準に準拠している為、景気に左右されにくい。ボーナス(期末手当・勤勉手当)は、年2回の支給が確実に行われる。

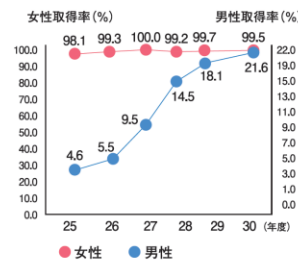
POINT 04 女性も働きやすい

現在、女性国家公務員の採用・登用の拡大等に関する指針などに基づき、人事院や各府省が具体的な目標を定め、仕事と家庭生活の両立支援のための様々な取組を行っています。人事院が毎年発表している育児休業等実態調査の結果によると、女性の育児休業取得率は、99.5%(平成30年)となっており、育児休業を終えた者の98.9%が職務に復帰しています。男女問わず活躍できる職場環境が公務員の職場にあります。

育児休業取得率の推移

99.5%

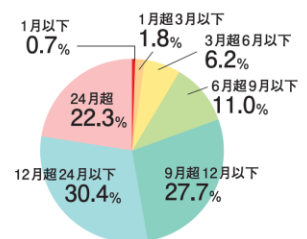
(平成30年女性)



育児休業期間(平均)

16.4ヶ月

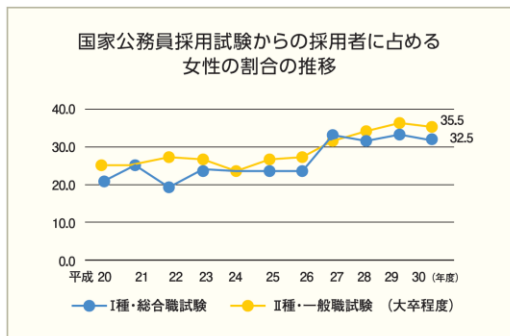
(平成30年女性)



[参考資料] 人事院 仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査(平成30年度)

さらに・・・女性の活躍を推進

女性の採用の拡大



女性の更なる登用推進に向けた研修

・**女性職員キャリアアップ研修**〔係長級以上の女性職員対象〕
マネジメント能力開発の機会や人的ネットワーク形成の機会の付与等を目的とした研修です。

・**行政研修(課長補佐級)**
女性管理職養成コース〔本府省課長補佐級の女性職員対象〕

課長補佐級女性職員が円滑に昇任していくことを支援するための官民の女性リーダーとの意見交換やリーダーシップ、部下のマネジメントなどに関する研修です。

出典：人事院 女性のための国家公務員ガイド ※人事院 女性のための国家公務員ガイドをもとにTAC作成

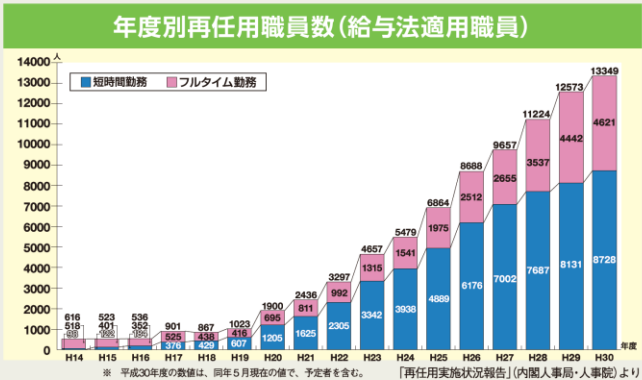
公務員の職場は民間企業にはない魅力であふれています!

公務員として働くメリット

POINT 05 生涯活躍の場がある!

公的年金の支給開始年齢が段階的に60歳から65歳へと引き上げられることに伴い、希望すると、原則として再任用されることになります。

また、国家公務員の定年を60歳から65歳に段階的に上げるよう進められており、地方公務員もそれに準じると予想されます。65歳の定年退職後、さらに関連団体等で再雇用されれば、今後、70歳くらいまで働けるようになることも予想されます。



例えば・・・国家公務員

【参考】一般行政職(フルタイム勤務)で再任用された場合の年収例(俸給+期末・勤勉手当) (平成31年4月現在)

再任用ポスト(例)	俸給月額	期末・勤勉手当	年 収
管区機関、府県単位機関の主任級(行政職(一)2級)	215,200円	約50万円	約310万円
管区機関、府県単位機関の係長級(行政職(一)3級)	255,200円	約62万円	約370万円
管区機関の課長補佐級 (行政職(一)4級)	274,600円	約70万円	約400万円

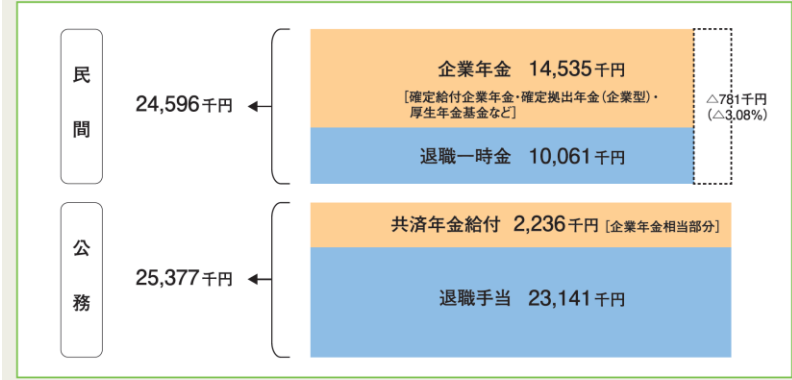
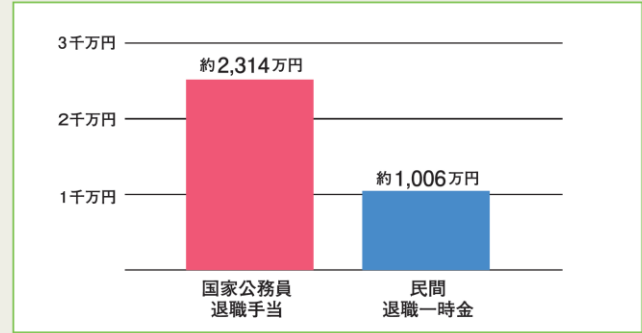
管区機関の課長補佐級として再任用された場合、年収が約400万円ですので、5年間で約2,000万円、生涯年収が増加することになります。

出典: 人事院 2019年国家公務員の再任用制度 ※ 人事院 2019年国家公務員の再任用制度をもとにTAC作成

POINT 06 老後も安心!退職金・年金

人事院の調査によると、退職金の平均は民間2,459万円、国家公務員2,537万円と、国家公務員が78万円上回りました。ただこれには、官民とも年金分については、退職時点に一時金として支給するとした場合の現在の価格に換算した分が含まれ、一時金でみると右図のように1,300万円以上の差があります。

さらに、公務員には、民間の企業年金に相当する年金払い退職給付(退職年金・公務障害年金・公務遺族年金)があり、老後の備えも安心です。



左図では差は78万円しかありませんが、民間は企業年金分が1,453万円となっており、退職一時金でみると1,300万円以上の差があります。

また、そもそも企業年金制度がある企業は、51.7%しかなく、退職一時金制度がある企業も88.0%と、退職一時金が支給されない企業もあり、公務員は老後の備えも安心と言えます。

出典: 平成29年人事院 民間の退職金及び企業年金の調査結果並びに国家公務員の退職給付に係る本院の見解の概要
※ 平成29年人事院 民間の退職金及び企業年金の調査結果並びに国家公務員の退職給付に係る本院の見解の概要をもとにTAC作成

POINT 07 多種多彩な選択肢

あなたにとって、楽しく働ける職場とはどんな職場でしょうか。自分がやりたい仕事ができる、自分の夢が実現できる、専門性が高い、幅広い分野に携われる、安定している、ワーク・ライフ・バランスが実現できる…など、就職観は人それぞれ。公務員の世界には、これらに合致する職種や職場が存在しており、多種多彩な選択肢から自由に選んで受験することができます。あなたが考えているよりもはるかに幅広い選択肢がありますので、最善の選択をしてください。

POINT 08 各分野のスペシャリストとして働ける(主に国家公務員)

例えば国家公務員は、1府12省庁の職員、裁判所職員、国税専門官、労働基準監督官、財務専門官、衆議院事務局職員、参議院事務局職員など、様々な職種があり、各機関の管轄する分野のスペシャリストとして活躍しています。経済政策や地球温暖化対策、税金、労働問題、安全保障など、各分野のスペシャリストとして、国を動かすスケールの大きな仕事に携わります。

POINT 09 幅広い分野の仕事(主に地方公務員 行政事務職)

都道府県や市役所などの上級職は、自治体の幹部候補として採用される試験です。幹部に必要な「様々な角度から自治体の状況を理解できる力」を養うため、2～3年程度で部局を異動し、福祉・教育・環境・産業振興など、幅広い分野の業務に携わることができます。

例えば一般的な市には、右図のような部局があり、多彩な分野の仕事に携わることができます。

POINT 10 人と社会のために働ける、誇れる仕事

公務員は全体の奉仕者として、社会全体を視野にとらえ、幸せな生活の舞台をつくりだし、支える仕事に従事する職業です。一部の人のためだけではなく、すべての人たちのために平等かつ公平に行政サービスを提供することで、私たちの生活の基盤を支えています。

国民、都民、県民、市民、区民など、いささかでも人々の暮らし、幸せな生活のために役立つことができるので、非常にやりがいを感じる、誇れる仕事です。

国家公務員

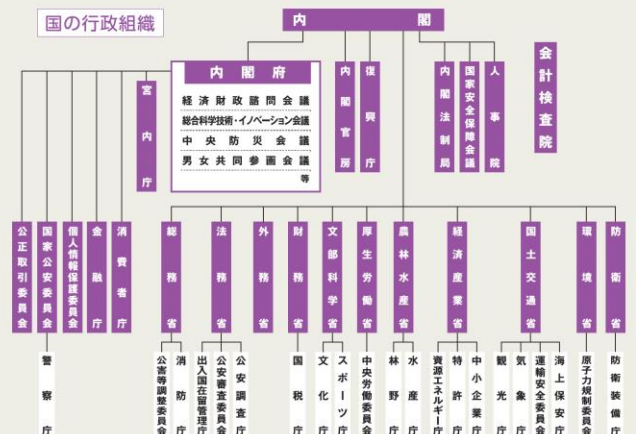
日本全体を支える各分野のスペシャリスト

行政府	各府省等及び機関の職員(1府12省庁)、 国税専門官、財務専門官、労働基準監督官 など
司法府	裁判所事務官 など
立法府	衆議院事務局職員、参議院事務局職員 など

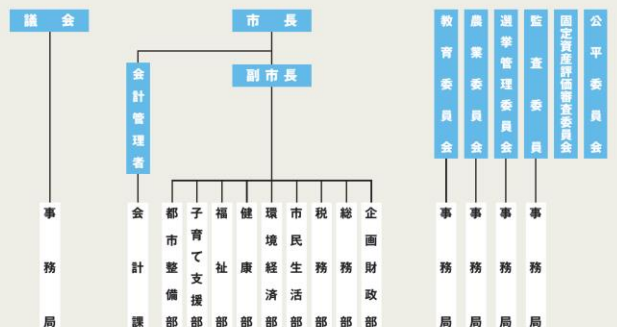
地方公務員

地域住民を支えるゼネラリスト

都道府県	都道府県庁及びその関連施設に勤務し、広域的行政サービスを担う。
市区町村	市役所や区役所及びその関連施設に勤務し、基礎的行政サービスを担う。



市の一般的な組織



□国家公務員

行政府

① 1府12省庁職員 ～各府省庁で国家政策を立案・実行する～

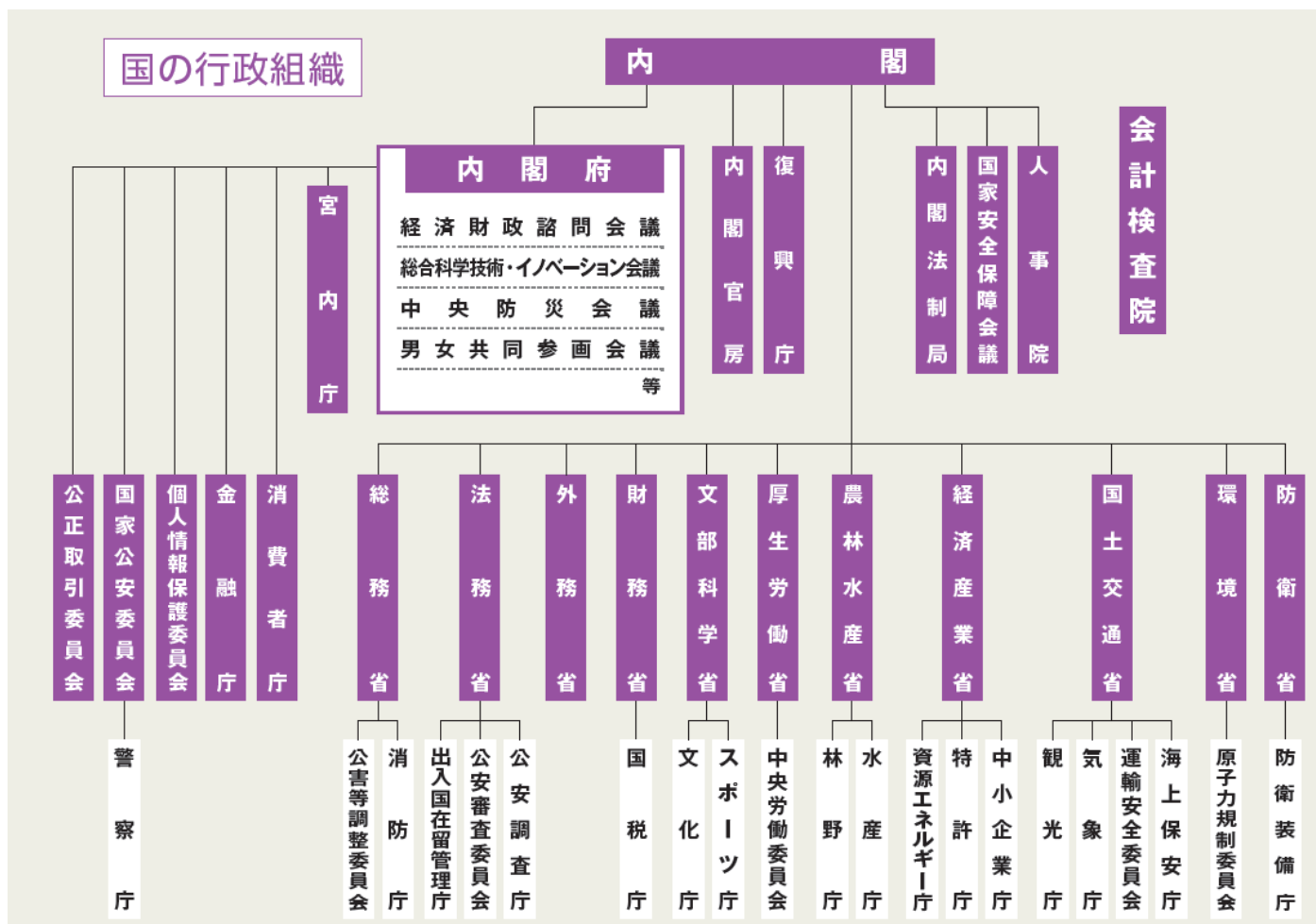
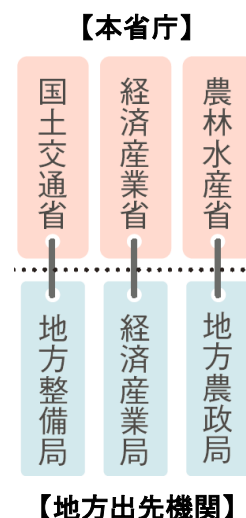
対象試験種：国家一般職試験（大卒程度）

【仕事内容】 **政策立案** 本省庁採用（霞が関勤務） 例：〇〇省
各府省に採用され、**特定分野の専門的業務**に従事する
国の中枢である**霞ヶ関**で主に**政策の企画立案**を担う

実行 地方出先機関採用（地方勤務） 例：〇〇省関東〇〇局
勤務地域はある程度限定されており、**管区内の本局や事務局**に勤務
主に**実行役**を担い、機関によっては窓口業務がある

【勤務先】 省庁をまたいだ異動はない ＝ **官庁訪問時の選択が一生の職場を決める**

【特徴】 1次試験合格発表後に実施される『**官庁訪問**』を経て、**機関ごとに内定**が出る
試験実施主体は**人事院**だが**採用・内定は省庁ごと**＝“無い内定”がありうる



⑩ 国税専門官 ～日本の税制を支える税務のスペシャリスト～

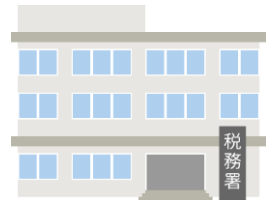
対象試験種：国税専門官採用試験

【仕事内容】 法律・経済・会計に関する知識を駆使して、**申告納税制度を支える専門職**

国税調査官：適正な申告が行われているかの調査・検査・指導 など

国税徴収官：税金の督促や滞納処分、納税に関する指導 など

国税査察官：悪質な脱税者に対する強制捜査・捜索・差押え・告発 など



【勤務先】 採用後は**税務大学校での研修**を通じて税金や会計に関する基礎知識を修得
研修終了後に**税務署や国税局**に配属される

【特徴】 **研修制度が充実**しており、専門知識や技能を身につけながら仕事ができる
勤続年数に応じ、国家資格である**税理士の科目合格や税理士資格**が得られる

⑪ 財務専門官 ～国と地域をつなぐ、財政・金融のプロフェッショナル～

対象試験種：財務専門官採用試験

【仕事内容】 **財務局や財務支局**で活躍する国家公務員の**専門職**

財務省の総合出先機関として、**財政・国有財産・金融等に関する施策**を実行

【勤務先】 各地の**財務局単位**で採用され、異動は採用局管内で2～3年のサイクル
希望すれば財務省・金融庁の**本省に出向**する機会が得られる場合もある



【特徴】 国有財産の活用・予算執行調査・財政融資資金の活用・地域金融の円滑化・
地域経済の調査&報告など、**幅広い業務に携われる**ことが魅力

⑫ 労働基準監督官 ～民間企業の労働者を守る労働Gメン～

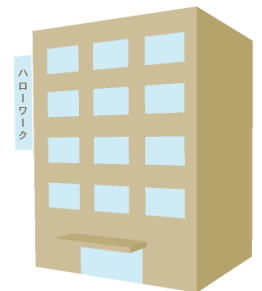
対象試験種：労働基準監督官採用試験

【仕事内容】 労働関係法令に基づき、**労働条件・安全／衛生の確保・改善を促進する専門職**

臨検監督：労働条件や健康管理状況等について調査・指導

災害調査：労働災害発生状況や原因について調査&再発防止指導

司法処分：労働関係法令違反に対し、特別司法警察員として捜査・送検



【勤務先】 **厚生労働省**の専門職として、**都道府県労働局**や**労働基準監督署**に勤務
※採用後3年目及び原則として13年目に各2年間、採用された労働局以外の
労働局へ異動するが、その他の期間は、採用された労働局内の労働基準監
督署（労働局を含む）を2～3年ごとに異動

【特徴】 他の職種に比べて**庁外業務が多い**
困っている人を助けたいと考えている方におすすめ

司法府

㊦ 裁判所職員 ～裁判事務のプロフェッショナル～

対象試験種：裁判所一般職試験 等

【仕事内容】 裁判所のスムーズな運用を図るための**事務や裁判手続の補助業務**を担当
裁判所の円滑な運用を支える**コートマネージャー**として活躍

【勤務先】 受験した高等裁判所管轄内の裁判所の**裁判部門or司法行政部門**へ配属
まずは**裁判所事務官**として**裁判部門に配属**されることが多い
裁判部門：法定事務や裁判手続の補助作業を担当
司法行政部門：総務・会計・人事などの一般事務を担当

【特徴】 内部試験により、『**裁判所書記官**』への**ステップアップの道**が開かれている
書記官は**裁判立会・調書作成・公判スケジュール管理**等、より深く裁判に携わる



立法府

㊦ 衆議院事務局／参議院事務局 ～各議会の活動を支えるシンクタンク～

対象試験種：衆議院事務局職員採用試験

：参議院事務局職員採用試験

【仕事内容】 会議運営部門・調査部門・総務部門で、**各議会の運営サポート**を担当
国権の最高機関で**議会制民主主義を陰で支える**重要かつ緊張を要する仕事

【勤務先】 原則として、**国会議事堂or周辺施設**での勤務 ＝ 転勤を伴う異動はない

【特徴】 少数精鋭の職場のため、**例年採用人数が多くない**ことから倍率が上がりがち
衆議院と参議院はそれぞれ別の機関であり、別々に採用試験を実施



□ 法人職員

㊦ 国立大学法人等職員 ～非公務員型の法人職員～

対象試験種：国立大学法人等職員採用試験

【仕事内容】 大学組織や研究機関のマネジメント、教育・研究現場を支援する業務を担う
国立大学法人等職員は、**非公務員型の法人職員**という位置付け

【勤務先】 国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構、大学共同利用機関法人、
一部の独立行政法人及び放送大学学園 など

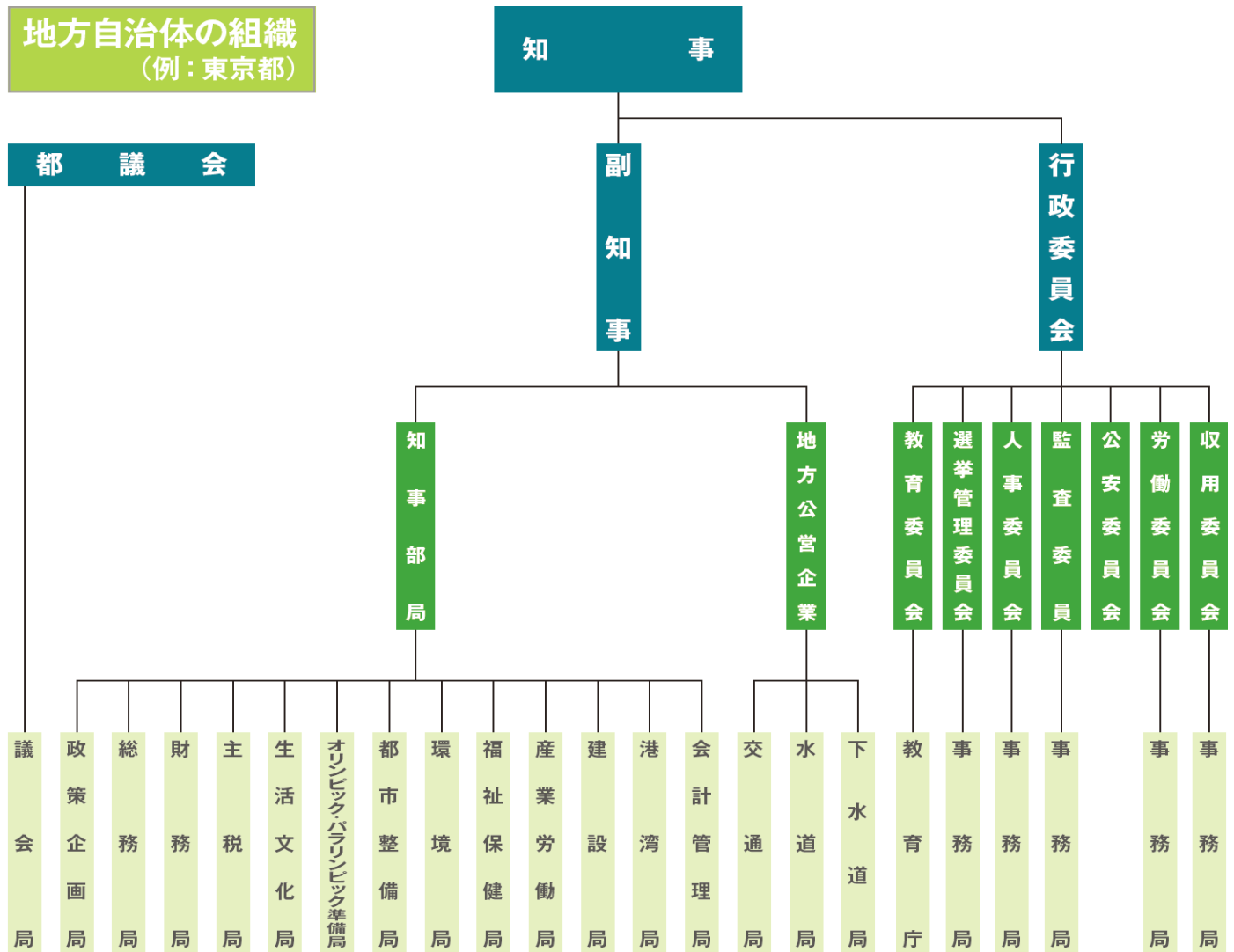
国立大学法人	東京大学、東京工業大学、東京学芸大学 等
独立行政法人	国立科学博物館、大学入試センター、東京国立博物館 等

【特徴】 出願時に全国7地区の中から**希望に合わせて地区を選択**して受験できる
第2次試験で、**受験地区内の各機関から志望先を自由に選択**することが可能



□地方公務員

地方公務員の魅力



△幅広い分野の業務に携われる

地方公務員は、機関ごとの採用ではなく、いわば**各自治体の総合職**として採用されます。採用後は、2～3年程度の周期でさまざまな部局を異動しながら、**幅広い分野の業務に携わ**ることができます。



△地域の特性に合わせたまちづくり・政策に携われる

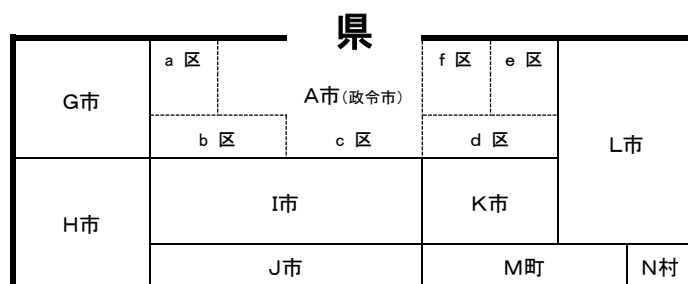
各県・市・区が抱えている課題は、**自治体によりさまざま**です。地方公務員は、**地域の実情や特性に応じた政策**を自ら考え実行する機会が多いことから、自分の**仕事の成果が実感しやすい**です。



自治体規模による仕事内容の違い

日本の地方自治制度は、“市町村と都道府県の二階層制”を採用しています。地方自治体は、その行政規模や目的によって分けると、以下の2つに区分できます。

- 市町村 = 基礎自治体
- 都道府県 = 広域的自治体

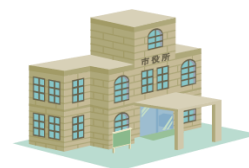


④ 市町村 ～基礎的行政サービスを担う～

対象試験種：各市町村が実施する採用試験

【仕事内容】 地域住民の**行政窓口**として、住民生活の基礎手続(*1)、住民の安全・健康確保・環境保全(*2)、まちづくり(*3)、各種施設の運営(*4)等を行う

- *1 戸籍住民登録、住居表示、諸証明の発行 など
- *2 消防、ごみ処理、上下水道の整備、公園・緑地の整備 など
- *3 都市計画、道路・河川・その他の公共施設の建設及び管理 など
- *4 公民館・保育所・小中学校・図書館等の建設及び管理 など



【勤務先】 市役所や関連施設（出先機関） = **転居が伴う異動はない**

【特徴】 市役所の窓口業務などで**地域住民と直に接する機会が多く**、都道府県や国家公務員よりも自分が携わった**仕事の成果が実感しやすい**

⑤ 都道府県 ～広域的行政サービスを担う～

対象試験種：各都道府県が実施する採用試験

【仕事内容】 市町村の区域を越える業務(*1)、都道府県全体で統一すべき業務(*2)、国と市町村間や業者との調整..etc

➡**市町村に比べてスケールが大きな仕事**を担う

- *1 総合開発計画、治山治水事業、産業立地条件の整備、道路・河川・公共施設の管理 など
- *2 義務教育・社会福祉の水準維持、各種認可・許可・検査 など



【勤務先】 都道府県庁や関連施設（出先機関）

【特徴】 地域住民と直に接する機会は少ないが、市町村に比べると仕事のスケールや権限が大きい

⑩ 政令指定都市 ～基礎的自治体と広域的自治体の機能を併せ持つ自治体～

対象試験種：各政令市が実施する採用試験

- 【仕事内容】 法律上**都道府県と同格の扱い**を受ける、人口50万人以上の大規模都市
市町村の業務に**加え**、道府県に代わり**福祉や都市計画**も担う
- 【勤務先】 市役所・区役所や関連施設（出先機関）
自治体により異なるが、現場（窓口）からスタートする場合が多い
- 【特徴】 基礎的／広域的行政サービスの**両方に携われる** ＝ 仕事の幅広さが魅力
市町村に比べて**採用人数が多く、毎年採用試験が実施される**ため人気が高い

政令指定都市	
札幌市	名古屋市
仙台市	京都市
さいたま市	大阪市
千葉市	堺市
横浜市	神戸市
川崎市	岡山市
相模原市	広島市
新潟市	北九州市
静岡市	福岡市
浜松市	熊本市

⑪ 東京特別区 ～東京23区の職員～

対象試験種：特別区（東京23区）職員採用試験

- 【仕事内容】 **東京23区**をまとめて『東京特別区』と呼び、**基礎的自治体の役割**を担う
東京都が処理する上下水道・消防等を除き、**区ごとに市町村事務**を担当
- 【勤務先】 採用試験は**23区合同の統一試験を人事委員会が実施**するが、**採用は区ごと**
採用された**区の機関で働く**ことになり、市町村同様に転居を伴う異動はない
出願時に**希望区を第3志望まで記入**することが可能（江戸川区は単願のみ）
- 【特徴】 区ごとに**独自の政策が実行できる**点や、**地域住民との協働**が魅力
地方公務員採用試験の中で採用予定数・受験人数・最終合格者数、すべてに
おいて例年No. 1の試験（受験者は例年1万人程度、合格者は2千人以上）

東京23区	
千代田区	渋谷区
中央区	中野区
港区	杉並区
新宿区	豊島区
文京区	北区
台東区	荒川区
墨田区	板橋区
江東区	練馬区
品川区	足立区
目黒区	葛飾区
大田区	江戸川区
世田谷区	

⑫ 警察官 対象試験種：警視庁・各道府県警が実施する採用試験

- 【仕事内容】
強盗・殺人・放火・詐欺など、市民生活を脅かす犯罪・
事件に立ち向かい、平和を守る。事件発生後はもちろん、
事件・事故の防止にも取り組む都道府県の公安職。

- 【特徴】
都道府県ごとに行政事務職とは別日程・問題で、警察
官採用試験として独自に採用試験を実施。1年に複数回
採用試験を実施する場合もあるが、概ね1回目の試験が
最も倍率が低い傾向で狙い目。

⑬ 消防官 対象試験種：東京消防庁・各市町村が実施する採用試験

- 【仕事内容】
住宅街・高層ビル群・山間部など、さまざまな環境で
発生する災害や救助要請に専門スキルで対応。市民の生
命と身体をあらゆる災害から守る市町村の公安職（東京
消防庁は東京都の職員）。

- 【特徴】
市役所ごとに、消防官（消防士・消防吏員）採用試験
として実施される。概ね市役所の行政事務職と同日程で
実施されており、教養試験は行政事務職と同一であるこ
とが多い。

Column 自分で情報収集を試みよう！

公務員試験は資格試験ではなく“就職試験”ですから、筆記試験対策はもちろん人物試験対策もしっかりとやらなければ、採用を勝ち取ることはできません。また、民間就活に比べて主に筆記試験対策のボリュームが大きく準備に時間がかかりますので、乗り越えるためにはモチベーションが必要です。

そこでぜひ筆記試験対策と共に取り組んでおきたいのが、志望先や気になる自治体・官公庁の情報収集です。公務員の場合は民間就活とは異なり、採用情報がまとまっている就職情報サイト（リクナビなど）や合同企業説明会の実施は、基本的にはありません。各自治体や官公庁が独自に情報発信やイベントを実施していますので、自ら積極的に情報収集をしていきましょう。

自分から動くことの大切さ

就職活動で最も大切なことは、欲しい情報があるならば、自発的かつ積極的に情報収集をする姿勢を持つことです。きっと誰かがタイミング良く教えてくれるだろうなどと思っていると、シマッタ！ということになりかねません。

職業選択は、これからのあなたの人生を左右するとても大事な人生の選択の1つですので、ぜひ自分から積極的に行動を起こし、あなたにとって最善の選択をしてください。

各自治体HPの職員採用情報ページをこまめにチェック！

各自治体や官公庁のHPには、必ず“職員採用情報ページ”が設けられており、説明会情報・現役職員インタビュー・試験情報などが随時掲載されます。志望先・併願先はもちろん気になる自治体や官公庁のHPはブックマークしておき、こまめにチェックしておくことをおすすめします。

自治体職員については	〇〇市 職員採用	で検索
国家公務員（一般職・専門職）は	国家公務員採用情報 NAVI	で検索
裁判所職員については	裁判所 職員採用	で検索



採用関連イベントに参加しよう！

HPによる情報収集に加えておすすめなのが、現役職員の生の声や雰囲気が感じられる採用関連イベントへの参加です。実施情報はHPや大学の就職課などで掲示されますので、ぜひ積極的に参加しておくことをおすすめします。

各種説明会 : 例年11月頃から春先にかけて随時実施

インターンシップ : 夏休みや春休みに実施、etc

※今年度～来年度は、新型コロナの影響で例年と異なる状況となる場合があります。



2 公務員の試験制度&攻略法

□受験資格

公務員試験の行政事務職の受験資格は、概ね**年齢と国籍要件のみ**です（一部試験では学歴要件あり／警察官・消防官は身体要件あり）。出願すれば誰でも受験することができ、**学歴・職歴・性別・年齢などによる有利不利はありません**。

つまり、筆記試験と人物試験の総合評価で合否が決定される、**公平公正な就職試験**と言えます。

受験資格例

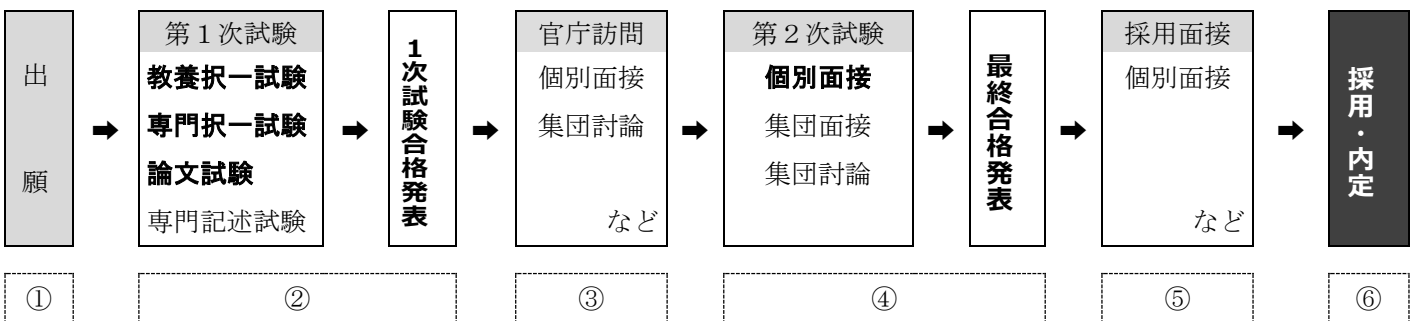
参考：令和元年度 特別区Ⅰ類（事務）
日本国籍を有する人で、次の年齢要件に該当する人
★昭和63年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人

Point

- 今自分が持っている知識や学力ではなく、これからの努力が公務員試験の合否に直結する。
- 受験資格は各職種・自治体ごとに異なるので、受験する際は最新の試験情報を要確認。
- 公務員試験＝就職試験のため、年齢要件は年度により変更される場合があるので最新情報を要チェック。
- 規模の小さな市役所などは、年齢要件の他に住所要件などが設けられている場合もある。
- 資格免許職の場合は、“資格取得者 or 翌年3月までに取得見込みの者”が要件となる場合が多い。

□公務員試験のしくみ

一般的な公務員試験の流れ



①出願(4月頃～順次)

2～5月頃にその年の試験案内が、自治体・職種ごとにHPにて公表され、**4月から受験申込受付がスタート**します。

近年は、インターネットによる受験申込受付が主流です。

②第1次試験

筆記試験として**教養択一・専門択一・論文試験**が実施されます。専門記述は東京都・裁判所一般職・国税専門官・財務専門官・労働基準監督官など、一部試験種のみで実施されます。

③官庁訪問(国家一般職)

国家一般職は、「最終合格＝採用」ではありません。1次試験合格発表後に、人事院が実施する2次試験（個別面接）とは別に、官庁ごとに実施される「**官庁訪問**」を経て内々定を得る必要があります。

④第2次試験

第1次試験合格者を対象に、**人物試験として個別面接**などが実施され、**志望理由や自己PR**に関する質問がなされます。

個別面接はほぼ全ての公務員試験で、集団面接・集団討論は地方上級や市役所などで実施される傾向にあります。

⑤採用面接(意向確認)

最終合格者を対象に、主に個別面接が実施され、意思確認が行われます。**併願状況や複数の試験に合格した場合はどうするか**などが問われます。

⑥採用・内定

原則として翌年の4月1日からの採用となりますが、既卒者・社会人は10月から採用されるケースもあります。

※上記は、一般的な公務員試験のモデルケースです。試験実施時期や試験の内容は、自治体・試験種・年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

第1次試験日 ～併願受験で万が一のリスクを回避～

令和2年度		
4月	12日(日)	警視庁警察官I類① ※中止
	26日(日)	国家総合職 ※7/5実施
5月	2日(土)	参議院事務局総合職 ※7/12実施
	3日(日)	特別区I類(23区)、東京都I類B ※7/26実施
	9日(土)	裁判所一般職(大卒) ※8/9実施 自衛隊一般幹部候補生
	10日(日)	東京都I類A ※7/12実施 衆議院事務局一般職(大卒) ※7/18実施 東京消防庁消防官I類、警察官(5月) ※延期
	17日(日)	北海道一般行政A、大阪府行政(22-25)、 大阪府事務行政(22-25) ※6/28実施
6月	7日(日)	国税専門官、財務専門官、労働基準監督官、 食品衛生監視員、皇宮護衛官、航空管制官、 法務省専門職、海上保安官(大卒) ※8/2実施
	14日(日)	国家一般職(大卒) ※8/9実施
	28日(日)	地方上級(県・政令指定都市) 市役所A日程
7月	5日(日)	国立大学法人等
	12日(日)	市役所B日程 警察官(7月)
9月	19日(土)	警視庁警察官I類②
	20日(日)	市役所C日程 警察官(9月)
10月	25日(日)	神奈川県(秋季チャレンジ)

※網掛けの試験種は、新型コロナウィルスのため延期となったもの

令和元年(平成31年)度		
4月	28日(日)	国家総合職
5月	3日(祝)	参議院事務局総合職
	4日(土)	警視庁警察官I類①
	5日(日)	特別区I類(東京23区) 東京都I類B
	11日(土)	衆議院事務局一般職(大卒) 裁判所一般職(大卒) 自衛隊一般幹部候補生
	12日(日)	東京都I類A 警察官(5月)
6月	9日(日)	北海道一般行政A(第1回) 大阪府行政(22-25) 大阪府事務行政(22-25)
	26日(日)	東京消防庁消防官I類①
	9日(日)	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 食品衛生監視員 皇宮護衛官 航空管制官
7月	16日(日)	国家一般職(大卒)
	23日(日)	地方上級(県・政令指定都市) 市役所A日程
	7日(日)	国立大学法人等
8月	14日(日)	警察官(7月)
	28日(日)	市役所B日程
	25日(日)	東京消防庁消防官I類②
9月	22日(日)	市役所C日程 警察官(9月)
10月	27日(日)	神奈川県(秋季チャレンジ)
1月	12日(日)	警視庁警察官I類③

※第1次試験日は、年度により変更になる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

Point

- 採用人数が多い試験種は、例年5～6月の週末(土日)を中心に第1次試験日が設定されている。
- 第1次試験日が重なってなければ、いくつでも併願受験してOK！
- 多くの合格者は、万が一のリスクを回避するために4～5程度の試験種を併願受験している。
- 専門科目まで学習して、採用人数が多い5～6月の試験種をメインターゲットにしておきたい。

試験種別試験形態

行政事務	国家公務員			地方公務員					法人
	国家一般職 (大卒)	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官A	裁判所一般職 (大卒)	東京都 I類B (一般方式)	特別区 I類 (東京23区)	地方上級 (県・政令市)	市役所 教養+専門型	市役所 教養型 警察官・消防官	国立大学 法人等
教養択一	●	●	●	●	●	●	●	●	●
専門択一	●	●	●	—	●	●	●	—	—
論文	●	—	●	●	●	●	●	●	—
専門記述	—	●	●	●	—	—	—	—	—
個別面接	●	●	●	●	●	●	●	●	●
集団討論	官庁訪問	—	—	—	—	●	一部あり	一部あり	一部あり

「●」＝実施あり 「—」＝実施なし

Point

- 教養択一・専門択一・論文試験対策をしておけば、採用人数が多い試験種を幅広く併願できる。
- 最低限の学習で公務員を目指したい場合は、専門試験が課されない市役所教養型や国立大学法人等がメインターゲットとなるが、採用人数はいずれも少ない傾向にある点に注意。
- 一部の試験種で課される「専門記述試験」は、専門択一試験の学習内容が対策のベースとなる。
まずは専門択一の知識を万全にした後、論述の練習を重ねることで攻略できる。

教養試験

試験種	一般知能分野							一般知識分野																	合計 出題数 (問)	合計 解答数 (問)	解答時間 (分)	
	数の処理				文章理解			人文科学					自然科学					社会科学										時 国語・英語
	数の 推理	判断 推理	空間 把握	資料 解釈	現代 文	英 文	古 文	世 界 史	日 本 史	地 理	思 想	文芸・文化	数 学	物 理	化 学	生 物	地 学	法 律	政 治	経 済	社 会							
国家一般職	5	6	2	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	—	1	1	1	3	—	40	40	140		
国税・財務・労基	5	5	3	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	—	40	40	140		
裁判所一般職	7	6	3	1	5	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	1	2	2	—	—	—	40	40	180		
特別区Ⅰ類	5	6	4	4	5	4	—	1	1	1	1	—	—	2	2	2	2	2	1	—	1	4	—	48	40	120		
東京都Ⅰ類B*	5	3	4	4	4	4	—	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	5	—	40	40	130		
地方上級全国型	6	5	4	1	4	5	—	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	3	1	3	5	—	50	50	150			
地方上級関東型	5	3	3	1	4	5	—	3	3	2	—	1	1	1	2	2	1	3	1	3	6	—	50	40	120			
地方上級中部・北陸型	6	5	4	1	4	5	—	2	3	2	—	1	1	1	2	2	1	2	1	2	5	—	50	50	150			
横浜市	17				3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	3	1	12	—	50	50	150			
国立大学法人等	4	4	4	1	3	3	1	2	2	2	—	1	1	1	1	2	1	2	1	2	2	—	40	40	120			
警視庁警察官Ⅰ類	6	5	4	2	6	2	—	2	2	2	1	1	—	1	1	1	1	3	3	3	3	4	50	50	120			
東京消防庁消防官Ⅰ類	5	4	1	5	5	2	—	1	1	1	—	—	4	2	2	2	—	4	1	2	3	45	45	120				

* 東京都Ⅰ類Bは、行政・一般方式の情報です。

* 横浜市は、令和2年度本試験の情報です(社会科学の法律・政治・経済12問のうち9問については、専門科目の学習が必要な内容)。

※ゴシックの数字は必須解答です。 ※上記は、2018年度以前の試験情報を元に作成しています。実際の出題内容とは異なる場合があります(TAC調べ)。

Point

- 一般知能分野は、必須解答&出題数が多い ⇒ 教養試験の可否を分ける重要科目。
- 一般知識分野は、1科目あたりの出題数が少なく、試験によって問題選択解答 ⇒ 効率的な学習が必要。
- 教養試験のボーダーラインは、概ね6割程度 = 満点は必要ない。
- 出題科目数が多いので、出題数に応じた優先順位(数的処理 > 文章理解 > 社会科学 > 人文科学・自然科学)に従い、学習時間や力の入れ具合を調整 ⇒ 学習のメリハリ付けが必要。

教養択一試験の攻略法

- 【一般知能分野】 数的処理・文章理解は、解法テクニックを習得して、繰り返しの問題演習を積むべき演習科目。
- 問題を見たら、どの公式・解法パターンを使うかがすぐに思いつくようになることが目標。
 - 解法テクニックを学び解けるようになったら、問題を解くスピードも意識する。
- 【一般知識分野】 出題される問題レベルは概ね大学入試センター試験レベルで、典型的な暗記科目。
- 1科目あたりの出題数が少ないため、頻出テーマに絞った効率的な学習で攻略する。
 - 最低限広く浅く各科目の頻出&基本テーマをおさえ、なるべく捨て科目を作らないことが大切。

教養試験の約3～4割を占める最重要科目『数的処理』とは？

数的推理：方程式、不等式、速度算、濃度算、整数、確率 など
 判断推理：論理、集合、暗号、嘘つき問題、順序・位置関係 など
 空間把握：立体の構成・切断などの図形の観念的な問題 など
 資料解釈：表やグラフなどの資料の読み取り問題

- ✓ 問題が解けるようになるまで時間がかかる
- ✓ 繰り返しの問題演習が大切

専門試験

試験種	法律系						経済系						政治系						その他										合計 出題数 (問)	合計 解答数 (問)	解答時間 (分)				
	憲 法	民法 (物権総則)	民法 (債権総則)	行政 法	刑 法	労働 法	商 法	ミ ク ロ 経 済 学	マ ク ロ 経 済 学	財 政 学	経 済 事 情	経 済 政 策	経 済 史	労働 経 済	政 治 学	行 政 学	社 会 学	社 会 政 策	国 際 関 係	社 会 事 情	社 会 保 障	経 営 学	会 計 学	労働 事 情	英語 基礎	英語 一般	英語 商業	情報 工学				情報 数学	統計 学	心理 学	教育 学
国家一般職	5	5	5	5	—	—	—	5	5	2	3	—	—	—	5	5	5	—	5	—	—	5	—	—	5	5	—	—	—	—	5	5	80	40	180
国税専門官	3	6		3	—	—	2	2	2	6	2	—	—	—	3	—	2	—	—	1	—	6	8	—	—	6	6	6	6	—	—	—	70	40	140
財務専門官	6	5		8	—	—	1	3	3	6	2	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	6	6	—	—	6	—	6	6	6	—	—	76	40	140
労働基準監督官A	4	5		4	3	7	—	4	5	—	4	—	—	3	—	—	2	—	—	—	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	48	40	140
裁判所一般職	7	13			10	—	—	5	5	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	30	90	
特別区Ⅰ類	5	10		5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	40	90
東京都Ⅰ類B	【専門記述】憲法・行政法・民法・経済学・財政学・政治学・行政学・社会学・会計学・経営学の10題から3科目選択解答																												10	3	120				
地方上級全国型	4	4		5	2	2	—	5	4	3	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
地方上級関東型	4	6		5	2	2	—	5	6	4	—	3	1	—	2	2	—	3	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120
地方上級中部・北陸型	5	7		8	2	2	—	4	4	3	3	2	—	—	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120

※ゴシックの数字は必須解答です。 ※上記は、2018年度以前の試験情報を元に作成しています。実際の出題内容とは異なる場合があります（TAC調べ）。
※東京都I類Bは、行政 一般方式の情報です。

Point

- 法律系、経済系、政治系の3分野を中心に、大学の専門課程レベルの問題が出題される。
- 各科目の専門家になるのではなく、正解肢を選び出すために必要な知識を身につけることが最終目標。
- 専門試験のボーダーラインは、概ね7割程度 = 満点は必要ない。
- 試験種により出題科目が異なるうえ出題科目数も多いので、出題数に応じた優先順位に従い学習時間や力の入れ具合を調整 ⇒ 学習のメリハリ付けが必要。

専門択一試験の攻略法

- 【重要科目】 出題数の多い憲法、民法、行政法、ミクロ・マクロ経済学、財政学、政治学の学習が最優先。
- 科目ごとに学習内容がリンクしており、法律系は憲法→民法→行政法、経済系はミクロ経済学→マクロ経済学→財政学、政治系は政治学→その他の科目の順番で学習すると効率的。
- 【選択科目】 重要科目以外は、志望先での出題の有無を確認して、必要な科目だけを選択学習すればOK。
- 併願先を選ぶ際に第一志望で出題される科目で受験できる試験種を選ぶと学習負担が軽くなる。
- 科目の優先順位は出題数に呼応する = 出題数の多い科目を優先的に学習する。
- 【専門記述対策】 まずは各科目の択一試験対策を完成させてから、各科目の頻出テーマの記述対策をする。
- 試験種ごとに~~出題傾向が異なる~~ため、過去問の傾向に合わせた対策をする必要がある。

参考：民間志望者でも目指せる新区分が増加中

東京都I類B（行政・新方式）や神奈川県（行政・秋季チャレンジ）など、専門試験は行わずに、自己PRシートやプレゼンテーション試験を実施する新区分が、近年増加しています。新区分は、一般枠に比べると採用人数は少なく倍率は上がりがちですが、受験のチャンスが広がっているという観点では受験生にとって朗報と言えます。

例：東京都I類B(行政・新方式)

【1次】教養試験、プレゼンテーションシート作成

【2次】プレゼンテーション、個別面接

【3次】グループワーク、個別面接

□論文試験

社会問題などの一般的な課題について、自分の考えを手書きで論述することが求められます。解答時間は概ね60～80分程度、文字数は800～1,200字程度で、与えられた課題に**的確に答え、自分なりの考えやアイデアも盛り込んだ論理的な文章**が書けるかが試されています。

出題例：令和元年度 特別区Ⅰ類（事務） 論文Ⅰ

特別区では、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、多くの来日が予想される外国人観光客への対応を進めているところです。さらに、国内労働者人口の減少を背景とし、外国人労働者も増え続けています。それらに伴う多様な言語を話す外国人の増加は、地域社会に様々な課題を投げかけることが予想されます。

このような状況を踏まえ、これら外国人の増加に伴い生じる新たな課題に対して、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。



本科生特典！
「答案添削は何度でもOK！」

Point

- 出題テーマは、各種白書や統計資料を元にしたものや各自治体が抱える課題に対して、自分の考えを述べさせるものが多く、問題文の最後に「・・・あなたの考えを述べなさい。」と指示がある場合が多い。
- 文章の書き方や答案構成の組み立て方はもちろん、普段から新聞やニュースなどに興味を持ち、社会問題や時事に触れておくと、論文のネタ集めや面接対策にもなる。
- 論文の評価はA～Eの5段階。C評価以上が安定的に取れるようになれば、合格レベルと言える。

論文試験の攻略法

- 【①講義を受講】 ② まずは講義で、**基本的な文章の書き方・予想テーマ・ネタ集めの方法**などを学ぶ。
- 【②実際に書く】 ② 予想テーマについて、自分なりに**答案構成を練り論文を書いて答案添削を繰り返し受ける。**
- 【③改善する】 ② 何度も添削を受けて**改善**を図り、予想テーマごとの**自分なりの模範答案をストック**する。

Column 配点比率

Q. 教養・専門・論文…どれを最優先で勉強するべきですか？

判断材料は、試験案内等で公表されている『配点比率』です。

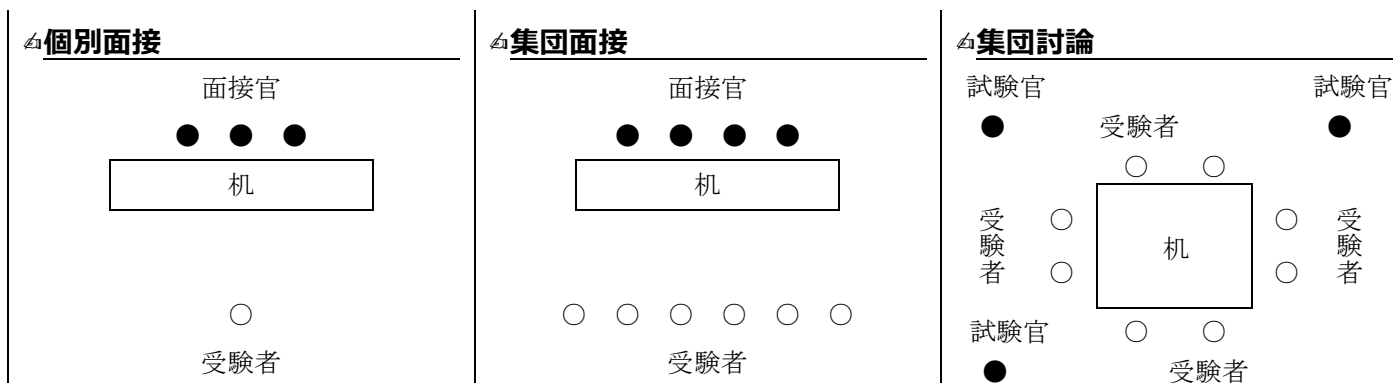
国家一般職（大卒）の配点比率を見ると、専門択一試験の配点は基礎能力試験（教養択一）の2倍であることがわかります。つまり、専門択一試験の得点効率は、基礎能力試験（教養択一）の2倍・・・当然、基礎能力試験（教養択一）よりも専門択一試験対策を優先するべきということになります。

一方で、地方公務員の場合は筆記試験：人物試験＝3：4になっていますから、面接に力を入れなきゃ！と思いがちですが、ちょっと待って！公務員試験では第1次試験（筆記）合格者だけが第2次試験（人物）に進める・・・やはり、第1次試験（筆記）対策がまずは最優先だということになります。

国家一般職（大卒・行政）			
基礎能力	専門択一	論文	面接
2	4	1	2
筆記試験重視の傾向			

地方公務員（例：埼玉県）			
教養択一	専門択一	論文	面接
1	1	1	4
人物試験重視の傾向			

□第2次（人物）試験 ～過去の情報を元にした的を射た対策で攻略！～



Point

- 個別面接は、ほぼ全ての公務員試験の2次試験以降で、必ず実施される。
- 内容は『志望理由』と『自己PR』を問う一般的な就職面接。面接の倍率は民間よりも格段に低い。
- 人物試験重視の試験が増えているが、過去の情報に基づき“的を射た対策”をしておけば怖くない！
- 民間就活経験がある大学4年生・既卒者・社会人は、人物試験対策において就活経験を活かせる！

面接試験の攻略法

- 【①講義を受講】 講義で面接作法、面接カードの書き方、よくある質問への対応方法などを学ぶ。
- 【②情報収集】 面接復元シートで志望先の面接の質問事項・雰囲気・形式などの情報を入手し、想定問答を準備。
- 【③実践練習】 回数無制限の模擬面接や受講生同志の面接練習で場数を踏み、面接に慣れる。
 - ➡模擬面接：復元シートを元にした質問事項での面接練習を繰り返し、徹底的に個別指導。
 - ➡面接練習：同じ志望先の受講生同志で集まり、受験者役と面接官役を交互に担当して練習。

参考資料 01

試験種・自治体別年齢上限

例：令和元年度（平成31年度）行政事務職

上限年齢	国家公務員・他	地方公務員	
		都道府県	政令指定都市・特別区・政令指定都市以外の市
59			つくば市 など
39		山形県	
36		徳島県	
35		宮城県・福島県・山梨県・長野県・富山県・和歌山県・鳥取県・熊本県	仙台市・郡山市・相模原市・秦野市・和歌山市・福井市・久留米市 など
34		秋田県・福井県・滋賀県・大阪府【行政(26-34)】・愛媛県	山形市・大阪市【行政(26-34)】 など
33			福山市・松山市 など
32		岩手県	熊本市・高松市 など
31		東京都I類A	特別区I類(東京23区)
30	国家総合職・国家一般職(大卒)・ 外務専門職・国税専門官・財務専門官・ 労働基準監督官・裁判所一般職(大卒)・ 衆議院事務局一般職(大卒)・ 国立大学法人等	北海道・埼玉県・千葉県・神奈川県・ 新潟県・静岡県・岡山県	横浜市・静岡市・名古屋市・京都市・岡山市・北九州市・ 旭川市・いわき市・船橋市・富山市・豊橋市・ 豊中市 など
29		青森県・茨城県・群馬県・栃木県・ 東京都I類B・石川県・岐阜県・愛知県・ 三重県・奈良県・広島県・島根県・山口県・ 香川県・高知県・福岡県・長崎県・佐賀県・ 大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	札幌市・川崎市・広島市・福岡市・ 函館市・青森市・秋田市・盛岡市・宇都宮市・ 前橋市・高崎市・横須賀市・金沢市・松本市・ 岐阜市・倉敷市・高知市 など
28			千葉市・新潟市・浜松市・堺市・市川市・柏市・ 大津市・西宮市 など
27	参議院事務局総合職	兵庫県	さいたま市・神戸市・ 岡崎市・豊田市・奈良市 など
26		京都府	長野市・長崎市・宮崎市 など
25		大阪府【行政(22-25)】	大阪市【行政(22-25)】

※上表は、TACが独自に調査した令和元年度（平成31年度）実施試験（大卒程度の行政事務職）における受験可能な年齢上限をまとめたものです。

2019年5月現在

※各試験の年齢要件は年度により変更となる場合がございます。また、年齢要件以外にも受験資格がある場合がございますので、受験の際は必ず最新の試験案内等でご確認ください。

ここが
POINT

社会人・既卒者も、一般枠の大卒程度試験の受験がおすすめ!

公務員試験の受験資格は、概ね年齢要件のみで、新卒者だけでなく既卒者・社会人の方も受験できるように、年齢上限は高めに設定されています。試験種により経験者採用試験も実施されていますが、一般枠の大卒程度試験に比べると、募集される試験区分・募集人数は限定されます。また職務経歴の継続年数が受験資格に含まれる場合もあります。したがって、**年齢要件を満たしている場合は、一般枠の大卒程度試験の受験がおすすめです。**

参考資料 02

試験実施結果

地方上級（行政事務）

全＝全国型 全安＝全国型安型 関＝関東型 関安＝関東型安型 中北＝中部北陸型 法経＝法経専門型 経済＝経済専門型

都道府県	区分 (行政事務)	教養	専門	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率		都道府県	区分 (行政事務)	教養	専門	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
				2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年					2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年
北海道	一般行政A(第1回)	全安	全	150	125	1,367	1,709	296	357	4.6	4.8	京都府	行政1A(総合職)	他	全安	85*	70*	336	300	177	111	3.5	2.7
青森県	行政	全安	全	64	55	225	266	64	55	3.5	4.8		行政1A(法律)	他	法律								
岩手県	一般行政A	全安	全	49	44	236	276	70	55	3.4	5.0	大阪府	行政22-25	SP3	全	120	100	1,018	1,055	174	160	5.9	6.6
宮城県	行政	全	全	55	55	415	461	65	65	6.4	7.1		一般事務職	全安	全	84	80	510	422	106	108	4.8	3.9
秋田県	行政A	全安	全	29	34	256	274	39	39	6.6	7.0	奈良県	行政A	全安	全	65	67	245	339	69	69	3.6	4.9
山形県	行政	全	全	45	45	319	282	70	45	4.6	6.3		一般行政職(通年特)	全安	他	62	62	321	374	74	62	4.3	6.0
福島県	行政事務	全	全	97	70	432	358	119	86	3.6	4.2	鳥取県	事務(一般コース)	全	全	20	23	108	155	29	23	3.7	6.7
茨城県	事務(知事部局等)	関	関	64	75	487	503	84	99	5.8	5.1		行政	全	全	49	36	122	156	49	45	2.5	3.5
栃木県	行政	関安	関	50	70	327	432	62	83	5.3	5.2	岡山県	行政	全	全	50	64	312	334	70	85	4.5	3.9
群馬県	行政事務	関	関	64	62	461	366	80	70	5.8	5.2		一般事務A(行政)	全安	全	78	50	352	328	113	73	3.1	4.5
埼玉県	一般行政	関	関	149	156	1,251	1,458	241	244	5.2	6.0	広島県	一般事務A(法律)	全安	法律								
千葉県	一般行政A	関	関	70	90	715	942	110	145	6.5	6.5		一般事務A(経済)	全安	経済								
東京都	1期1回(一般方式)	独自	記述	290	320	2,276	2,564	403	421	5.6	6.1	山口県	行政	全	全	40	20	197	263	75	41	2.6	6.4
	1期2回(一般方式)	独自	記述	100	110	806	927	123	127	6.6	7.3	徳島県	行政事務	全	他	56	59	408	577	66	69	6.2	8.4
神奈川県	1期行政	関	他	110	110	757	978	187	164	4.0	6.0		一般行政事務	全	全	65	65	298	227	69	68	4.3	3.3
新潟県	一般行政A・B	関安	関安	56	42	328	309	69	54	4.8	5.7	愛媛県	行政事務	全	全	71	76	391	409	76	82	5.1	5.0
富山県	総合行政	中北	中北	49	52	244	284	60	60	4.1	4.7		行政	全安	全	44	40	220	250	52	49	4.2	5.1
石川県	行政	中北	中北	43	44	194	292	53	53	3.7	5.5	福岡県	行政	全	全	40	45	450	503	45	53	10.0	9.5
福井県	行政	中北	中北	45	52	174	179	54	52	3.2	3.4		行政	全安	全	29	26	175	181	29	26	6.0	7.0
山梨県	行政1	関	関	50	49	364	395	52	49	7.0	8.1	佐賀県	行政	全	全	18	30	143	167	22	34	6.5	4.9
長野県	行政A	関	関	40	60	325	349	49	75	6.6	4.7		行政	全	全	75	74	357	360	75	74	4.8	4.9
岐阜県	行政1	中北	中北	65	70	232	342	80	92	2.9	3.7	大分県	行政	全	全	86	77	311	364	86	77	3.6	4.7
静岡県	行政(従来型)	関	関安	73	70	316	388	106	100	3.0	3.9		一般行政	全	全	54	50	239	261	70	60	3.4	4.4
愛知県	行政1	中北	中北	130	135	688	882	208	189	3.3	4.7	鹿児島県	行政	全	全	42	45	277	355	65	62	4.3	5.7
三重県	行政1	中北	中北	44	47	247	293	63	58	3.9	5.1		行政1	全	全	40	42	795	931	79	58	10.1	16.1
滋賀県	行政A	全安	全	55	45	305	331	71	58	4.3	5.7												

*京都府の採用予定数は「1A・1B」の合計となります。

都道府県	区分 (行政事務)	教養	専門	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率		都道府県	区分 (行政事務)	教養	専門	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率		
				2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年					2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年			
札幌市	一般事務(1期コース)	総合		125	155	875	1,244	121	155	7.2	8.0	京都府	行政(一般方式)	全	全	100	110	563	727	84	107	6.7	6.8	
仙台市	事務	全	全	90	85	702	777	90	92	7.8	8.4	大阪府	行政(22-25)	通性	—	130	110	822	985	150	122	5.5	8.1	
さいたま市	行政事務	全	全	89	100	864	983	149	201	5.8	4.9			通性	法律									
千葉市	事務(行政A)	全	全	50	50	392	301	81	59	4.8	5.1	横浜市	事務(一般特)	他	全	30	40	307	431	33	42	9.3	10.3	
特別区	1期(事務)	独自	独自	966	1,130	11,501	12,718	2,032	2,371	5.7	5.4	神戸市	総合事務 ※2018年は一般行政(法律・経済・国際関係)	他	他	80	65	460	法律 619		88		7.0	
横浜市	事務	他	—	270	280	1,635	2,123	391	397	4.2	5.3									経済 39		1		39.0
川崎市	行政事務																			経実 14		2		7.0
																				国際 17		1		17.0
相模原市	行政(6月)	他	—	98	89	577	620	107	89	5.4	7.0	岡山市	事務(一般特)	他	全	40	43	193	217	41	44	4.7	4.9	
新潟市	一般行政A	全	全	20	47	197	315	21	47	9.4	6.7	広島市	行政	全	全	100	125	542	618	136	163	4.0	3.8	
	一般行政B	全	—	5	5	66	88	4	5	16.5	17.6			法律	全									法律
静岡市	事務A	全	—	90	70	432	476	84	66	5.1	7.2		経済	全	経済									
	事務B	—	全	—	—	27	25	5	5	5.4	5.0													
浜松市	事務(行政)	全	全	36	30	133	148	34	30	3.9	4.9	福岡市	行政	全	全	40	30	366	501	45	27	8.1	18.6	
名古屋市	行政一般	全	—	110	65	713	704	112	87	6.4	8.1	北九州市	行政総合	全	全	20	27	176	253	23	27	7.7	9.4	
	法律	他	法律	55	45	264	296	72	75	3.7	3.9	大阪市	行政1	全	—	10	16	103	119	12	16	8.6	7.4	
	経済	他	経済	55	45	172	126	62	63	2.8	2.0	熊本市	事務職	全	全	80	62	391	406	80	62	4.9	6.5	

国家公務員

国家一般職 (大卒/行政)	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年
北海道地域	180	170	848	959	393	363	2.2	2.6
東北地域	180	170	1,275	1,404	473	453	2.7	3.1
関東甲信越地域	1,220	1,260	7,212	8,293	1,792	1,696	4.0	4.9
東海北陸地域	300	240	2,177	2,385	770	814	2.8	2.9
近畿地域	370	320	2,624	2,998	641	749	4.1	4.0
中国地域	220	150	1,235	1,279	486	466	2.5	2.7
四国地域	90	80	843	911	231	269	3.6	3.4
九州地域	300	240	2,225	2,390	689	655	3.2	3.6
沖縄地域	100	70	600	689	200	186	3.0	3.7

*関東甲信越地域の採用予定数には、本府省の採用予定数が含まれています。

国家専門職・国会議員	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年
国税専門官	1,200	1,200	10,490	11,678	3,514	3,479	3.0	3.4
財務専門官	150	150	1,721	2,058	526	526	3.3	3.9
労働基準監督官A	200	210	1,560	1,718	379	396	4.1	4.3
衆議院事務局一般職(大卒)	20	20	173	527	15	16	11.5	32.9
参議院事務局総合職	15	15	非公開	非公開	未発表	13	非公開	非公開

その他

国立大学法人等 (事務)	採用予定数		申込者		第一次試験合格者		倍率	
	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年
北海道地区	45	39	1,211	1,249	480	477	2.5	2.6
東北地区	58	56	1,914	2,183	555	538	3.4	4.1
関東甲信越地区	164	151	8,998	9,949	1,401	1,369	6.4	7.3
東海・北陸地区	89	88	3,241	3,279	1,131	1,307	2.9	2.5
近畿地区	54	48	3,330	4,052	731	742	4.6	5.5
中国・四国地区	91	97	2,612	2,702	1,049	1,129	2.4	2.4
九州地区	89	121	5,052	5,263	1,301	1,478	3.9	3.6

*第2次試験以降は採用予定のある各国立大学法人等で個別に実施されます。

Point

参考資料 03

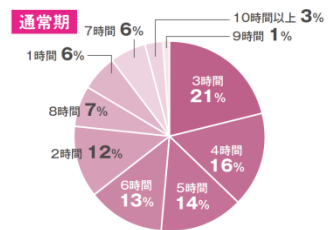
2019 年公務員試験合格者アンケート

合格者 DATA BOOK

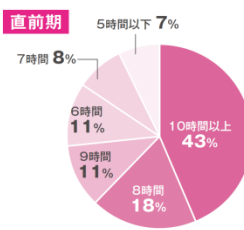
TAC合格者アンケート

2019年公務員試験合格者によるアンケートを実施しました。今後の勉強にお役立てください。

Q1 1日あたりの平均学習時間はどれくらいですか？（TACの講義時間含む）

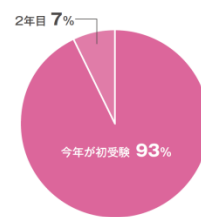


通常期の平均学習時間は3時間と答えた方が21%で1位。次いで4時間・5時間となりました。ちなみに全回答者の平均は4.5時間でした。



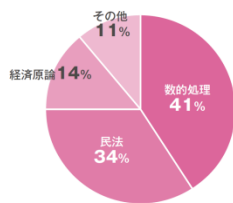
直前期になると、平均学習時間は大幅に伸び、10時間以上と答えた方が43%で半分近くを占めました。また、全回答者の平均は8.8時間で、通常期の約2倍近くとなりました。

Q2 受験回数は何回目ですか？



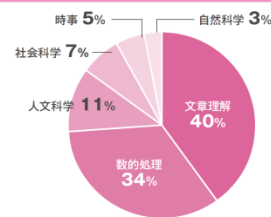
はじめての受験で合格したという方が93%となりました。予備校を活用することで、今回の受験で一発合格を目指すことが可能と言えるでしょう。

Q3 最も力を入れた科目は何ですか？



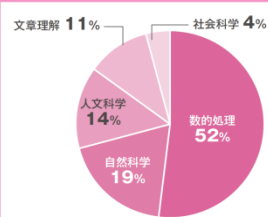
力を入れた科目は、数的処理・民法・経済原論の3科目で90%近くを占めています。これらの科目はいずれも、暗記よりも理解が重要で、予備校生と独学生とは最も差のつく科目です。

Q4 教養試験の得意科目は何ですか？



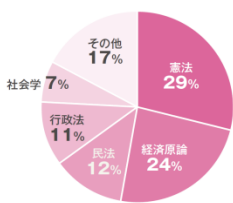
行政事務職を受験される方は文系の方が多いため、文章理解を得意科目とされる方が多いですが、苦手としやすい数的処理を日々の学習で克服して得意科目としている方も多いようです。

Q5 教養試験の不得意科目は何ですか？



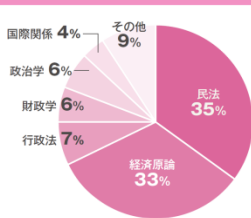
不得意科目の上位は、やはり文系の方の多くが苦手とする数的処理や自然科学といった理系分野の科目でした。つまり、この2分野を克服することが合格へのポイントとなります。

Q6 専門試験の得意科目は何ですか？



専門試験の得意科目は憲法が29%で1位、経済原論が24%で2位となりました。経済原論はTACで学習をはじめてから得意とされた方が多くいらっしゃるようです。

Q7 専門試験の不得意科目は何ですか？



専門試験の不得意科目は、民法が35%で1位、経済原論が33%で2位、以下行政法と続きます。いずれも重要な科目ですので、ぜひ克服していただきたいところです。

アンケート対象者

TAC公務員講座本科生
2019年度公務員試験 合格者

アンケート回答者数

258名

※アンケートの数値は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がございます。



3 T A C の合格カリキュラム

□本科生（合格へ導く20コースの中から、あなたへのおすすめは！）

大学3年生以上向けコース

総合本科生

- ① 筆記試験から面接試験対策まで必要な対策を全て含んだ追加料金なしのオールインワン。
- ② 主要な公務員試験(行政事務職)に幅広く対応できるカリキュラム＝多数の併願受験OK！
- ③ 大卒レベルの公務員試験で数多くの最終合格者＆上位合格者を毎年輩出。
- ④ 論文添削・模擬面接回数無制限！自習室も使い放題などの各種特典あり。

大学2年生専用コース

1.5年本科生

- ① 重要科目(基本講義)の2回転学習で、“より確実に”合格が目指せる2年生専用コース。
- ② サークルやアルバイトなど受験準備と両立したいことがある方におすすめ。
- ③ 筆記試験から面接試験対策まで必要な対策を全て含んだ追加料金なしのオールインワン。
- ④ Web フォローが標準装備なので、フレキシブルに学習できる！

□おすすめの受講メディア



『教室講座+Webフォロー』

教室講座を受講しながら、復習や欠席フォローとしてWebでも講義を視聴できる、大人気の受講スタイル。

スマートフォン・タブレット・PC に対応!

活用①

今日は2限と4限で講義…3限の時間どうしよう
→大学のPCルームやスマホで講義を受講!

活用②

ここ忘れちゃった…いますぐ講義を見たい!
→PC・スマートフォン・タブレットですぐに確認OK!

□生講義中心&受講校舎が自由に選べる

■クラス振替出席フォロー



「今日は大学は休みだけど、TACの講義はあるんだよねあ…」そんな時は『クラス振替出席フォロー』で別校舎・別日の生講義にチェンジ可能!

→首都圏には教室講座開講校舎が多数ある＝生講義中心の受講ができる



■クラス重複出席フォロー

新宿校 4月入学(夜中心クラス)

日程	講義名
4月 15(月) 夜	憲法①
16(火) 夜	数的推理①
18(木) 夜	憲法②
20(土) 夜	ミクロ経済学②
23(火) 夜	数的推理②
25(木) 夜	憲法③

池袋校 7月入学(夜中心クラス)

日程	講義名
7月 10(水) 夜	憲法①
11(木) 夜	数的推理①
16(火) 夜	数的推理②
17(水) 夜	憲法②
18(木) 夜	数的推理③
23(火) 夜	数的推理④

復習

復習

「基本講義(主要科目の講義)」については、一度受講した講義であっても、日程上可能な限り何度でも繰り返し教室講座を受講できます。

活用③

久しぶりにこの科目の問題集を解いてみたらからなくなっちゃった…

→もう一度同じ講義を受講して内容を思い出そう!

□欠席フォロー

TACの校舎で欠席フォロー

■クラス振替出席フォロー（無料・手続不要）

登録した校舎やクラスに関わらず、日程表の中から好きな講義を選んで自由に振り替えることができます。

■ビデオブース振替フォロー

欠席した講義を、TAC校舎のビデオブースで視聴することができます（有料 ￥500／1回 ※要事前予約）。

インターネットを活用して欠席フォロー

■Webフォロー スマートフォン・タブレット・PCに対応！

教室講座に加えて別途Webフォローを申込み、Web講義をいつでも・どこでも・何度でも視聴できます。



□科目に関する質問

■質問コーナー

各科目の担当講師が講義前後はもちろん、講義以外の日にも『質問コーナー』を設け、受講生の質問に個別にお答えします。

→TACは、講義が終わったからその科目の質問は不可、なんてことはありません！

①各校舎の掲示板で日程を確認



②各科目担当講師の個別指導



□担任講師制度 ～頼れる公務員受験指導のプロがそばにいる！～

■ホームルーム（HR）



最新の試験情報や時期に応じた学習方法などについての無料講義をご提供！

■担任カウンセリング



受験や進路に関する相談は、担任講師にお任せ！お気軽にご相談ください。

㊦教室開講校舎毎に専任の担任講師がいる！

TACは、教室講座開講校舎全てに、専任の担任講師が在籍しているので、いつでも相談OK！

→不安なことがあれば、すぐに解消できる！

㊦ベテラン講師だから安心！

TACの担任講師は、公務員受験指導に精通したベテラン講師ばかり！これまで多くの受験生を最終合格へと導いてきた実績のある頼れる存在です。

→的を射た回答で受講生を迷わせません！

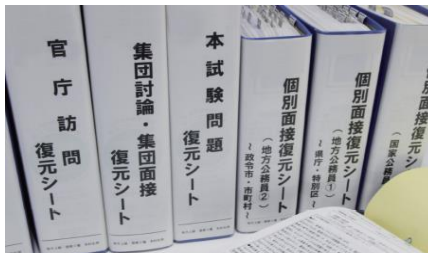
□面接対策 ～圧倒的な情報量＆徹底的な個別指導で攻略！～

■模擬面接 ★回数無制限★



TAC本科生は、回数無制限で模擬面接を実施！

■面接情報復元シート



全国のTAC生から集めた面接復元シート見放題！情報量では負けません！

㊦さらに面接対策ゼミなどを実施！

TACでは、面接対策の一環として受講生同士の面接練習ゼミの場を設けています。

→面接官側の視点も学び、さらにレベルアップ！

㊦情報量には絶対の自信があります

どの予備校にも面接復元シートは存在しますが、ぜひその量を比べてみてください。大卒レベルの公務員試験の情報量で、TACが他に負けることはありません！

→情報戦で負けることはありません！

◎ **TAC** v s 独学 のちがい

	TAC	独学
学 習 効 率	○過去の試験情報に基づいた頻出論点を中心するカリキュラムで、効率的に学習できる。 ○学習内容の疑問点は、講師に直接質問してすぐに解決できる。	▲教材の選定から学習計画まで、あらゆることを自分で管理して進めなければならない。 ▲疑問点が出て、問題解説や参考書を見ながら自分で解決しなくてはならない。
情 報 力	○全国の公務員試験の詳細な情報が蓄積されており、各校舎内で自由に閲覧できる。 ○最新の試験情報についても、担任講師がHRや説明会で随時レクチャーしてくれる。	▲公務員試験に関する過去の情報を、ひとつひとつ自分で探さなければならない。 ▲最新の試験情報を確認するためには、受験直前の多忙な時期に自らリサーチするほかない。
面 接 対 策	○面接復元シートを閲覧して、質問事項・雰囲気・形式等の正確な情報を把握することができる。 ○模擬面接を受けることで、試験種ごとの傾向に合わせた対策が進められる。	▲各試験種の面接情報が手に入らず、想定される質問への適切な回答が準備できない。 ▲実践練習の場が得られず、うまく話せるか不安な状態で本番に臨むことになる。
モチベーション	○TAC校舎で日々行われる生講義に出席することで、目標を見失わずに学習を継続できる。 ○有志の受講生で実施する「論文・面接自主ゼミ」に参加すれば、貴重な受験仲間とも出会える。	▲学習以外にも膨大な準備をたった一人でこなさなければならない中で、ともすると心が折れてしまい、結局受験をあきらめてしまうことになりかねない。

Point

① 今後の公務員試験は合格倍率が上昇してくるのでは？…

⇒ そうした時こそ TAC の効率的な学習方法を活用すべき！

② 公務員試験と民間就活を両立することは難しいのでは？…

⇒ 早い時期から TAC で計画的に準備を進めていけば、無理なく両立できる！

↓
ぜひ一度、**TAC**にアクセスしてください！お待ちしております！

◎ **無料講座説明会(ガイダンス)** 予約不要・参加無料・入会金免除券プレゼント

12月7日(月) 18:30～ @TAC早稲田校(早大南門前)

◎ **オンライン受講相談** 早稲田校スタッフがオンラインでご相談をお受けします。

☆まずはご連絡ください。電 話：03(5287)4940

E-mail: waseda@tac-school.co.jp



本気で公務員試験(大卒程度)に 最終合格したいなら、 TAC・W セミナー!

▼ 2019 年度公務員講座生^{※1} 公務員試験最終合格者一覧

国家公務員(大卒程度)

地方公務員(大卒程度)

2,375名 2,344名

国家総合職(大卒)	大卒レベル試験	150名
国家総合職(院卒・行政区分)	大卒レベル試験	20名
国家総合職(その他)	大卒レベル試験	12名
国家一般職	大卒レベル試験	948名
国税専門官	大卒レベル試験	610名
財務専門官	大卒レベル試験	120名
労働基準監督官	大卒レベル試験	61名
外務専門職	大卒レベル試験	41名
法務省専門職(人間科学)	大卒レベル試験	4名
裁判所総合職	大卒レベル試験	4名
裁判所一般職(大卒)	大卒レベル試験	349名
衆議院事務局一般職(大卒)	大卒レベル試験	3名
参議院事務局総合職	大卒レベル試験	5名
防衛省専門職	大卒レベル試験	27名
自衛隊幹部候補生	大卒レベル試験	8名
航空管制官	大卒レベル試験	1名
皇宮護衛官	大卒レベル試験	3名
食品衛生監視員	大卒レベル試験	6名
国立国会図書館(大卒)	大卒レベル試験	3名

特別区I類	大卒レベル試験	678名
東京都I類A	大卒レベル試験	27名
東京都I類B	大卒レベル試験	190名
道府県上級	大卒レベル試験	504名
政令指定都市上級	大卒レベル試験	448名
市町村上級	大卒レベル試験	243名
警視庁職員I類	大卒レベル試験	8名
警察官(大卒)	大卒レベル試験	181名
消防官(大卒)	大卒レベル試験	65名

国立大学法人等	大卒レベル試験	168名
独立行政法人	大卒レベル試験	8名
その他公務員		17名

2019 年度公務員講座生^{※1}
公務員試験最終合格者延べ人数^{※2}

4,912名

※1 公務員講座生とは公務員試験対策講座において、目標年度に合格するために必要と考えられる、講義、演習、論文対策、面接対策等をパッケージ化したカリキュラムの受講生です。

単科講座や公開模試のみの受講生は含まれておりません。

※2 同一の方が複数の試験種に合格している場合は、それぞれの試験種に最終合格者としてカウントしています。(実合格者数は2,746名です。)

* 2019年10月21日時点で、調査にご協力いただいた方的人数です。

2019 年度公務員講座生 自治体別最終合格者占有率

最終合格者の
3.1人に1人が
TAC・Wセミナー生です！

最終合格者の
2.7人に1人が
TAC・Wセミナー生です！

特別区I類 【事務】

①公務員講座生※1最終合格者数※2 651名 /
②全最終合格者数 2,032名 = **32.0%**

東京都I類B 【行政（一般方式）】※4

①公務員講座生※1最終合格者数※2 151名 /
②全最終合格者数 403名 = **37.5%**

4.3人に1人

横浜市 【大卒程度事務】

①91名 / ②391名 =
23.3%

3.3人に1人

川崎市 【大卒程度行政事務】

①60名 / ②195名 =
30.8%

4.1人に1人

神奈川県 【I種行政※5】

①46名 / ②187名 =
24.6%

2.7人に1人

さいたま市 【大卒程度行政事務】

①56名 / ②149名 =
37.6%

3.4人に1人

埼玉県 【上級一般行政】

①72名 / ②241名 =
29.9%

3.3人に1人

千葉県 【上級一般行政※6】

①37名 / ②121名 =
30.6%

2.5人に1人

名古屋市 【第I類事務（法律・経済）※7】

①54名 / ②134名 =
40.3%

※1 公務員講座生とは公務員試験対策講座において、目標年度に合格するために必要と考えられる、講義、演習、論文対策、面接対策等をパッケージ化したカリキュラムの受講生です。単科講座や公開模試のみの受講生は含まれておりません。

※2 同一の方が複数の試験種に合格している場合は、それぞれの試験種に最終合格者としてカウントしています。

※3 合格者占有率は「公務員講座生※1」を「各試験の最終合格者総数」で除して算出しています。

※4 東京都I類B最終合格者数は、一般方式のみの人数です。

※5 神奈川県最終合格者数は「行政（秋季チャレンジ）」は含んでいません。

※6 千葉県最終合格者数は一般行政Aと一般行政Bを合計した人数です。

※7 名古屋市最終合格者数は、法律・経済を合計した人数です。

※ 2019年10月21日時点で、調査にご協力いただいた方の人数です。

地方上級・国家一般職講座

3回連続無料体験入学で TACをじっくり体感!

大学生・既卒者・社会人
公務員に興味がある方なら
どなたでも参加OK!

【予約不要】【参加無料】

1 ご都合の良い校舎・日時を選択

パンフレットの体験入学日程表で確認し、都合の良い校舎・日時を選択してください。

- ☺ 体験入学1回目のオリエンテーションからの参加をおすすめしますが、2回目・3回目の科目の講義からご参加いただくことも可能です。
- ☺ 体験入学はお申込み予定の校舎に限らず、好きな校舎・日時で参加OKです。また、講義ごとに別の校舎での受講も可能です（体験入学1回目は新宿校、2回目は水道橋校など）。



→パンフレット P31

2 オリエンテーションを受講(体験①回目)

講義の開始時間に合わせてTAC校舎にお越しいただき、掲示のご案内に従い、直接オリエンテーション実施教室にお越しください。

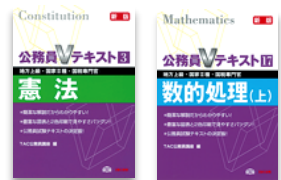
- ☺ オリエンテーションは、各校舎の担任講師が担当します。また、講義時間は90～120分程度で、これから本試験までの『正しい学習法』についてお話しします。
- ☺ オリエンテーション終了後は、講師・スタッフによる相談会を実施します。受験に関すること、試験制度について、申込方法など、何でもお気軽にご相談ください。
- ☺ ご参加の際は、筆記用具をお持ちください。



3 科目の講義を受講(体験②・③回目)

各科目の講義を無料でご受講いただけます。講義・教材の質、校舎の雰囲気などを体感して、じっくりとTACのコンテンツを確かめてください。

- ☺ 講義前に教材を配付しますので、お時間に余裕をもってお越しください。
- ☺ オリエンテーションを受講した校舎のみならず、他の校舎の体験入学日程に参加していただくことも可能です。
- ☺ ご参加の際は、筆記用具をお持ちください。



参加者全員に Present!

➡体験入学終了後、4回目の講義前までにお申込手続きを完了していただければ、引き続き講義日程通りにご受講いただけます。

TAC